

ラロキシフェン塩酸塩錠 60mg 「日医工」

【この薬は？】

販売名	ラロキシフェン塩酸塩錠 60mg 「日医工」 Raloxifene Hydrochloride Tablets 60mg
一般名	ラロキシフェン塩酸塩水和物 Raloxifene Hydrochloride Hydrate
含有量 (1錠中)	ラロキシフェン塩酸塩水和物 62.12mg (ラロキシフェン塩酸塩として 60mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、骨粗しょう症治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、閉経後に女性ホルモン（エストロゲン）の分泌が低下したことによってバランスを崩した骨の代謝を正常に近づけます。その結果、骨量の低下を改善し、骨折の危険性を減らします。
- ・次の病気の人に処方されます。

閉経後骨粗鬆症（へいけいごこつそしょうしょう）

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・深部静脈血栓症、肺塞栓症、網膜静脈血栓症などの静脈血栓塞栓症になっている

- ・人、または過去になったことがある人
 - ・手術をした後や長期安静期など、長期間寝たきりまたはそれに近い状態の人
 - ・抗リン脂質抗体症候群の人
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人、授乳中の人
 - ・過去にラロキシフェン塩酸塩錠「日医工」に含まれる成分で過敏症のあった人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
- ・過去に経口エストロゲン製剤で、血液中のトリグリセリド（中性脂肪）が高くなったことがある人
 - ・腎臓に障害のある人
 - ・肝臓に障害のある人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、飲む量は、1日1回1錠です。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

- ・気がついた時に、1回分を飲んでください。
- ・決して2回分を一度に飲まないでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

下肢けいれん、浮動性めまい（ふらつき）、失調（手足の運動がうまくできない）、嘔吐（おうと）、発疹、下痢、振戦（手足のふるえ）、潮紅（ほてり）があらわれる可能性があります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・静脈血栓塞栓症があらわれることがあります。下肢の痛み・むくみ、突然の呼吸困難、息切れ、胸の痛み、急性視力障害などの症状があらわれた場合には、使用を中止し、ただちに医師に相談してください。
- ・静脈血栓塞栓症の危険性があがるため、手術をした後や長期安静期など、長期間寝たきりまたはそれに近い状態になる場合には、3日前には薬を飲むのをやめ、完全に歩行できるようになるまで、使用を再開しないでください。
- ・カルシウムやビタミンDが十分に摂れていない人は、医師に相談し、カルシウムやビタミンDを補ってください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人、および授乳中の人はこの薬を使用することはできません。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
静脈血栓塞栓症 じょうみやくけっせんそくせんしょう	発熱、皮膚が青紫～暗紫色になる、手足の爪が青紫～暗紫色になる、唇が青紫色になる、下肢のはれ、下肢のむくみ、下肢の痛み
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、疲れやすい、体がだるい、力が入らない
口や喉	唇が青紫色になる、吐き気
腹部	食欲不振
手・足	手足の爪が青紫～暗紫色になる、下肢のはれ、下肢のむくみ、下肢の痛み
皮膚	皮膚が青紫～暗紫色になる

【この薬の形は？】

PTP シート	 <p style="text-align: center;">表面 裏面</p>
形状	<p style="text-align: center;">フィルムコーティング錠</p> 
直径	12.2×6.6mm
厚さ	4.5mm
重さ	250mg
色	白色
識別コード (本体表示)	ラロキシフェン 60 日医工
識別コード (PTP シート)	(R)020

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ラロキシフェン塩酸塩
添加剤	乳糖水和物、無水乳糖、ポリソルベート 80、クロスポビドン、ポビドン、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、マクロゴール 400、酸化チタン、カルナウバロウ

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売元：日医工株式会社 (<https://www.nichiiko.co.jp>)

くすりの相談窓口の電話番号 TEL (フリーダイヤル)：(0120) 039-215

受付時間：9時～17時（土、日、祝祭日その他当社の休業日を除く）